

令和 7 年度スポーツ振興課事業報告

1 スポーツ普及促進事業

- (1) **体力アップ体操教室（全 8 回 260 人参加《124 人増》、主催事業）**
 自宅等で手軽にできる体操を学び、日常から身体を動かす習慣を身につけ、体力アップをはかり、寝たきりや腰痛にならない健康づくりを行いました。
- (2) **小学生姿勢教室（全 4 回 85 人参加《13 人減》、主催事業）**
 姿勢は見た目の良し悪しだけにとどまらず、健康やメンタル、日常動作や運動パフォーマンスにも大きく影響します。長く生きていくための身体を養う児童期に、自分の身体についての知識と感覚を身につけ、自らの身体をどのように守っていくかを学びました。
- (3) **障害者施設訪問教室（全 6 回 179 人参加《9 人減》、委託事業）**
 障害者が将来にわたり、継続的にスポーツを楽しめるよう、障害者が身近な場所で参加しやすくスポーツができるよう施設を訪問し教室を実施しました。
- (4) **泉市民体育館まつり（10月13日実施 1,423 人参加《297 人減》、委託事業）**
 子どもたちを中心とした普段運動をしない市民に、スポーツに参加する楽しさを体験させ、スポーツへの関心を喚起し、スポーツ実施層の拡大を図ることを目的として実施しました。多くの市民が来場する、泉市民体育館まつりの会場で、子どもたちに関心が高く親しみやすい競技をアスリート等から指導を受ける機会を設けることで、子どもたちに夢を与えるとともに、スポーツ全体の普及・啓発を図りました。
- (5) **初心者ソフトテニス教室（全 5 回 120 人参加《62 人増》、委託事業）**
 子どもたちの健康増進・体力向上を図るために、ソフトテニスを経験していない、または始めたばかりの初心者を対象にソフトテニスの基礎的技術を指導するとともに、スポーツをする楽しさを教えました。
- (6) **市民運動習慣化事業（3月1日実施 30 人参加《10 人減》、委託事業）**
 地域での市民運動習慣化につながる体操プログラムを実施するため、講師を招き指導者養成研修講座を行い、指導者（3 人）を育成しました。市民運動習慣化体操プログラムを養成講座で指導資格を取得した指導者による講習会を地域で実施しました。
- (7) **なわとびチャンピオン大会（2月1日実施 227 人参加《31 人減》、スポーツ推進委員との主催事業）**
 市民の健康体力づくり運動の一環として奨励している「なわとび運動」の一層の普及と定着化を図り、併せて日頃の練習成果を発表する場として、市民の誰もが気軽に参加できる大会として開催しました。
- (8) **体力年齢測定会（9月6日実施 23 人参加《14 人減》、スポーツ推進委員との主催事業）**

高齢者や高齢者世代を前にした方、また自身の体力測定の手機が乏しい20歳以上の若い世代に、自己の健康管理や健康の維持・増進の知識を広げることには役立てました。

(9) 障害者スポーツ振興事業（ボッチャ）（7月5日実施 97人参加《5人減》、委託事業）

市内の12地区の体育会で、障害者スポーツとして普及することを目的として、対抗試合形式でボッチャを実施しました。優勝チームと準優勝チームが市町村ボッチャ大会へ出場しました。

(10) ユニバーサルスポーツ普及啓発事業（2月7日実施 13名参加《2人増》、委託事業）

オリンピック・パラリンピックのレガシーを引き継ぎ、市民が障害者スポーツに参加できる機会の提供、パラリンピックをきっかけとして障害者スポーツの理解・啓発を進め、障害者スポーツが将来にわたり継続的に楽しめるよう普及活動に取り組みました。（車いすラグビー日本代表 池崎大輔選手によるトークイベントを実施）

2 学校開放事業

社会体育の普及と幼児・児童の安全な遊び場の確保を目的に学校教育に支障のない範囲で、子どもの遊び場利用及びスポーツ団体に学校体育施設を開放しました。

遊び場利用者	延べ	30,088人
団体スポーツ利用者	校庭	延べ161,955人
	体育館	延べ186,092人

3 競技会の開催・派遣

(1) 市民体育大会（中央大会 7,146人参加《1,000人減》・地区大会 7,222人参加《1,675人増》、委託事業）

昭和21年から毎年開かれているもので、4月頃から始まり、翌年の2月頃まではほぼ1年を通して開かれました。市民体育大会には、中央大会（地区対抗とオープンの部）と地区大会があり、地区対抗は各地区の代表が会場し、オープンの部と地区大会は、市民が自由に誰でも参加できるようになっています。

(2) スポレクフェスタ2025（5競技 592人参加《743人減》、負担金事業）

生涯を通してのスポーツ活動が盛んになる中、中高齢者が気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション大会として、平成5年に始まりました。参加できるのは、原則として50歳以上で、4月から5月にかけて開催されました。

(3) 小学生クラブ交流会（2競技《バスケットボール・サッカー》 900人参加《27人増》、委託事業）

小学生クラブ間の交流を深め、技術を学びあうとともに、日頃の練習成果

の発表の場として開催し、小学生の健康・体力の増進を図りました。

- (4) **立川シティハーフマラソン2026** (3月8日開催 9,897人申込《59人減》 8,007人参加《12人減》、負担金事業)

子どもから大人まで、誰もが気軽に参加できる大会として、2012年から毎年開催しています。種目は「ハーフマラソン」、「10キロレース」、「1マイルレース」、「ファンラン・3キロの部」、「ファンラン・親子ペアの部」があります。ハーフマラソンと10キロレースのコースは、陸上自衛隊立川駐屯地滑走路をスタートとし、市内を周回後、国営昭和記念公園でフィニッシュするものです。

- (5) **地域スポーツ教室** (12地区 16種目 5,273人参加《621人増》、委託事業)

身近な地域でスポーツを楽しむ市民の増加を目指し、地域の特色を活かした、教室イベントなどのスポーツ活動を行いました。また、体力づくりの推進や幅広い年齢で楽しめる地域の実情に応じたスポーツ活動を実施することで、交流人口の増加を進めました。

4 スポーツ団体・自主グループ作成

- (1) **運動指導者育成事業** (講演会 34人参加《11人増》、指導者講習会 全2回 66人参加《41人減》、委託事業)

部活動の地域連携、地域移行を見据え、学校や地域へ派遣できるスポーツ指導者を育成することを目的として講師を招き、講演会と運動指導者養成講座を実施しました。

- (2) **学校部活動地域連携・地域移行トライアル事業** (全10回 延べ127人参加《新規》、委託事業)

学校部活動地域連携・地域移行に向けたモデルを構築するため、地域スポーツ団体等と連携したトライアル事業を実施し、検証や課題を明らかにしました。(ソフトテニスで実施)

5 スポーツ推進委員協議会の事業

- (1) **市民あるけあるけ運動** (6月28日、11月23日実施 209人参加《80人減》)

日々の健康づくり、体力増進を目的とした立川市民向けウォーキングイベントを実施しました。(多摩動物園ウォーク、箱根ヶ崎ウォーク)

- (2) **ボッチャ推進大会** (11月9日実施 54人参加《新規》)

スポーツ推進委員のスポーツ活動への認知及び向上のため、ボッチャ大会を実施しました。ボッチャを通じて市民へのスポーツへの参加を促進しました。

- (3) **ニュースポーツ(モルック)大会** (11月29日実施 94人参加《9人増》)

モルックはルール自体がシンプルなので、すぐに誰にでも楽しめ、「性別」、「年代」を問わず「一緒」に楽しむことができるスポーツです。この魅力

あるニュースポーツを広め、市民の親睦をより一層深めました。

6 その他

(1) プロスポーツとの連携

令和7年度に相互協力に関する協定を締結したプロスポーツチーム（ジークスター東京、東京ヴェルディ、読売巨人軍）

※すでに協定しているプロスポーツチーム（立川ダイス、立川アスレティックFC、アルバルク東京、石川ボクシングジム）

市民デー、表敬訪問、学校訪問や地域イベントへの出展等を通じて、スポーツに関与できる多様な機会を提供。

(2) デフリンピック気運醸成事業

2025年11月に開催したデフリンピックの気運醸成を図るため、立川市ゆかりのアスリートの岡田海緒さんを応援するため動画を撮影しました。また、岡田海緒さんが市内小学校（9小、大山小、南砂小）を訪問し、児童との交流を深めました。

(3) ラジオ体操指導者講習会（10月26日 42人《5人増》、スポーツ振興課、健康推進課、高齢政策課共同事業）

NHK テレビ体操・ラジオ体操指導者、アシスタントを招いての講習会であり、NPO 法人 全国ラジオ体操連盟の公認のラジオ体操指導者講習会を行いました。

講習会修了者は、連盟への申請によりラジオ体操指導員の資格を取得できます。

7 泉市民体育館管理運営

(1) 延べ利用者数

328,482人（R6：275,751人）

【内訳】

第1体育室	118,655人（R6：106,078人）
第2体育室	47,901人（R6：46,563人）
トレーニング室	54,206人（R6：43,793人）
室内水泳場	79,757人（R6：56,691人）
スタジオ・ボルダリング	23,052人（R6：17,563人）
会議室	4,911人（R6：5,063人）

(2) 直営時からの継続事業分等

- ①みんなで軽体操教室（228回、延べ13,038人）
- ②みんなでストレッチ教室（178回、延べ7,901人）
- ③視覚障害者向け教室（ヨガ）（8回、延べ61人）
- ④視覚障害者向け教室（ボッチャ）（6回、延べ36人）
- ⑤水中アクアエクササイズ教室（41回、延べ1,209人）

⑥ハンディ水泳教室（１８回、延べ１４４人）

８ 柴崎市民体育館管理運営

（１）直営時からの継続事業分

①みんなでストレッチ教室（８２回、延べ２，１７８人）

②軽体操教室（８０回、延べ２，２８６人）

※いずれも、練成館で開催。

- ・柴崎市民体育館中規模改修工事（令和６年１２月１３日から令和８年２月２７日）
- ・柴崎市民体育館中規模改修工事監理委託（令和６年１２月１６日から令和８年３月１３日）

９ 屋外スポーツ施設管理運営

（１）延べ利用者数

３７８，０７４人（Ｒ６：３６０，９８１人）

- ・立川公園野球場１塁側各所改修工事（令和７年１０月８日から令和８年２月２７日）
- ・練成館弓道場空調機設置工事（令和７年３月１９日から６月１３日）
- ・立川公園野球場夜間照明不点修繕（令和７年３月１８日から６月１３日）
- ・立川公園野球場放送設備修繕（令和７年６月５日から６月２０日）

１０ 施設予約システムのリニューアル

- ・これまで非対応だった屋外スポーツ施設がシステムから予約可能になりました。
- ・キャッシュレス決済が可能になりました。
- ・多くの予約枠を一度に申し込むことが可能になりました。